

山五小

おひさま通信

ホームページ「山形市立第五小学校」で検索

平成29年度 **3月号**①

山形市立第五小学校 平成 30 年 2 月 28 日 校長 三森 聡

児童会伝統の黄金の鍵が手渡されました

一 児童会引き継ぎ式 2.15 一



五小児童会の『黄金の鍵』を掲げて

「五小思草」の旗を掲げ、朝の挨拶運動をリードしたり、なかよし班の活動がみんな楽しくできるようにいろいろな企画をしたりして、1年間引っ張ってきてくれた6年生から『黄金の鍵』が5年生にバトンタッチされました。

5年代表の今野雄大さんは、その『黄金の鍵』を思い切り 両手で掲げながら、「これまで学校を引っ張ってきてくれた 6年生に代わって、今度は僕たちが楽しい学校をつくってい きます!」と声高らかに宣言をしました。その姿を見つめる 6年生は安心したようで、温かい拍手を返してくれました。



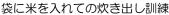
6年の各委員長より 委員会ファイルの引き継ぎ

"いざというときの避難所支援を考える"

5・6年ジュニプロの地区での赤十字活動 2.17

五地区のJRC団体との連携として、5・6年の児童会ジュニプロのメンバーが、実際に 体育館が避難所になったことを想定し、いざという時に役立つように炊き出し訓練の手伝い をしました。また、不安がる子ども達に、防災すごろくやカルタなどをして楽しませるため の方法を考え合いました。







防災すごろくで盛り上がる子ども達



防災カルタで防災知識を学ぶ

みんなの協力で集まった

ペットボトルキャップ 92.4kg /プルタブ 13.2kg

ーエコキャップ推進運動 健康福祉委員会ー



Tコキャップ贈呈式

ペットボトルキャップのリサイクルによる収益金で、開発途上国の子ども達にワクチンを届けようと児童会の健康福祉委員会を中心に収集したキャップの重さは、92.4kgありました。それぞれ袋に入れたそのキャップを持ち上げてみると、ずっしりと重く両手で袋を抱えるだけでせいいっぱいでした。



ペットボトルのキャップを掲げる児童会健康福祉委員 と山形銀行の方々

になるようです。

また、山形市「日本一の芋煮会」の新しい鍋の購入に役立ててもらおうとプルタブ回収も併せて実施したところ、段ボール1箱分 13.2kgもプルタブが集まりました。エコキャップやプルタブをわざわざ学校に届けにきてくださった、たくさんの保護者や地区の方々に感謝申し上げます。

3月7日(水) 1月では 1日では 1



商工会議所青年部大鍋製作プロジェクトの 皆さんに贈呈した袋いっぱいのプルタブ